

山本一清ネガフォトアルバム

—ブローニー判フィルム—

Issei Yamamoto's Photo-Album in 1922 – 1940
based on his Brownie Negafilms

もくじ

はじめに	・・・・・・・・	93
ネガ・アルバム		
フォルダーno.1 軽井沢から Milwaukee まで (1922-1923)	・・・・・・・・	95
フォルダーno.2 Union Pacific - Catalina Is. (1923)	・・・・・・・・	99
フォルダーno.3 California - Santa Fe' Lines (1923)	・・・・・・・・	103
フォルダーno.4 Amherst - Columbia Univ. (1923)	・・・・・・・・	107
フォルダーno.5 Vassar - N.Y. Sailing, Pasadena Meeting (1923)	・・・・	111
フォルダーno.6 Orleans - Potsdam (1924)	・・・・・・・・	113
フォルダーno.7 Arestri - Japan (1925)	・・・・・・・・	114
フォルダーno.8 公私-教室関係	・・・・・・・・	116
フォルダーno.9 HOME 京都、天文 (1927-1929)	・・・・・・・・	118
フォルダーno.10 Sumatra - Branbanan (1929)	・・・・・・・・	124
フォルダーno.11 Java -Bromo - Singapore (1929)	・・・・・・・・	129
フォルダーno.13 私事	・・・・・・・・	131
附録		
全コマ・リスト (この集録では省略)		
欧米留学時における山本夫妻の滞在地	・・・・・・・・	133
欧米留学経路図	・・・・・・・・	135

はじめに

山本一清は、欧米留学や外国出張、天文仲間のあつまり、家族の写真を市販のカメラで撮影してプリントし、アルバムに張り付けて多数保存していた。こうしたアルバムは19冊（資料番号：3-105-1～19）あり、1920年代から1930年代当時のようすをうかがうに大変貴重な資料となっている。山本資料にはそれらのプリントの元となったネガフィルムも保管されていることが判った。プリントのアルバムには無くて、ネガフィルムのみにある写真もあり、今回これらのネガから選んでデジタル化した画像を用いてあらたにネガ・フォトアルバムを作成した。



図1. ネガホルダー保管箱（資料番号：4-0-30） 図2. ネガフィルムホルダー

山本一清は京都帝大の学生時代（1910－1913）には、天体写真をガラス乾板を用いて撮影する技術を身に着けているが、一般の写真を撮影するようになったのは水沢緯度観測所に嘱託研究員として滞在していた時期（1914－1916）に始まる。そのことは日記にも記されていた。そして市販のカメラとフィルムを用いてさかんに記念写真などを撮影するようになったのは、欧米留学の直前になってである。この頃にコダック社のブローニー判カメラであるフォールディング・オートグラフィック（資料番号：2obs1f-0-59）を入手しており、それによって撮影されたネガフィルムが多数残されているのである。このカメラは裏蓋の窓から鉄筆でフィルムに文字を書き込むことができ、撮影場所、人物などの情報が現像されたあともコマ間に記録され、あとでの整理に便利なものである。ネガフォルダーはフィルムを1コマずつ切り離して100枚保存できるもので、おそらく米国滞在中に購入したものである。一清はこのカメラを1922年から1934年にかけて使いこなし、千コマ以上のネガをのこしているが、これだけ酷使されたものだから蛇腹や接合部にがたがきて、後期になると光漏れが発生している。

山本の写真は、このネガアルバムを見ていただければ芸術性の高いものであることに気づくだろう。それは彼が文芸志向の強い若者であったこと、欧米留学のうちに海外の芸術にじかに接して触発されていたことなどが関係している。山本天文台資料の中にはフランスのグラフ誌“*Illustration*”が多数所蔵されていることなどからもうかがわれる。

ネガフィルムを整理しあらためてデジタルアルバムを作成することを通じ、欧米留学時の日記を読み直してみると、ケンブリッジのハーバード大学天文台のシャプレイ台長のもとで研究員として過ごした10ヶ月間、夫妻にとって最も充実した研究期間であったことが判る。一清はマゼラン雲などの変光星の研究に取り組み、シャプレイと一緒に論文を書いている。また、ウィルソン山天文台に滞在した1ヶ月余りには太陽のCa HK線ガスの研究を行い、帰国後の生駒山太陽観測所の設立につながるものとなった。これは現在の飛騨天文台における太陽観測研究の礎となったものである。



図3. 山本一清愛用のコダック製フォールディング・オートグラフィック

凡例

ライトボックス上に置き、接写用レンズを用いデジタル一眼レフカメラにて複写し、そのファイルをフォトショップにて、諧調反転、モノクロ化を行い、諧調を整え、有効範囲にトリミングした。このアルバムはデジタル版に基づくものである。

アルバムの各写真のキャプションの先頭にある数字は元のネガフォルダーの通し番号であり、対応するネガのコマをすぐに探し出すことができる。プリントは一頁に収まるように並べてあるので、この番号が前後している場合もある。なお参考のためにネガフィルムの全コマリストを巻末につけてある。このリストは山本天文台資料調査の初期に作成したもので、デジタル化してプリントしたコマのキャプションと文言が一致しないものもあるが、両者ともに正しい。

このアルバムはネガフィルムの全コマをデジタル化したものではない。前述のアルバム帖にはおおやけのものを中心に密着焼付で製作されたプリントが張り付けられている。プライベートなコマは省かれているものもあるので、今回はそうしたコマをできるだけ拾い上げるつもりで選択した。

(2015年10月 富田記)

<フォルダーno.1> 欧米留学直前の軽井沢滞在から Milwaukee まで (1922-1923)

(キャプションの最初の数字はネガのコマ番号)



5.縫物をする英子 (軽井沢)



6.別荘でくつろぐ一清 (軽井沢)



8.Shopping (軽井沢)



10.試着する英子



15.着物の英子



17.Her Firstday of Dress



22.富山丸にて友人との送別会 (9月14日)



27.駅の英子 (ビクトリア、10月4日)



28. ビクトリア天文台ドームとプラスチック家



29. 室内にて



30. シカゴ大学にて



35. ヤーキス天文台と英子



36. ヤーキス天文台と一清



37. 自室にて



39. 椅子でくつろぐ



40. 自室にて



41. 湖に立つ一清



52. シルエット



38. 湖にて



53. 雪のヤーキス天文台



55. 雪のヤーキス天文台



56. スキーをする英子



57. 雪中の一清



58. 雪中の英子



64. しかめ面の一清



73. バーナード



95. Milwaukee モニュメント



96. Milwaukee Shore 鹿像と英子



番外 1. ヤーキス天文台の夫妻



番外 2. ヤーキス天文台の夫妻



番外 3. ヤーキス天文台の夫妻



番外 4.ヤーキス天文台の夫妻

<フォルダーno.2> Union Pacific – Catalina Is. (1923)



8.リック天文台と英子



9.プトレミー丘



13. Tucker



14.リック天文台



17. 161 Chestnut St. Pasadena



27. 60inch と吉田卯三郎



30. Mt. Wilson の吉田



34. Mt. Wilson Hotel



35. Mt. Wilson Museum



43. Monastery



49. 日食観測



51. 観測地 no.3



52. Miss Bigelow



53. Miss Calvert



56. 観測地 no.2



61. 観測機械群



62. Harris's Prelude



65. 日食カメラ群と英子



66. 自動車



67. Mrs. Plaskett's Flying Fish



68. Miss Bigelow Kinema



70. Mornig Sept 10



71. Drake & Carlton



59. Parkhursts 6inch Obj Prism



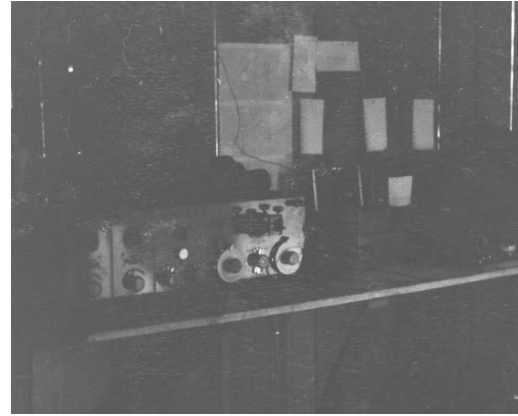
73. Parkhurst Hartman



86. Giddings House



72. Shadow Band



77. Radio Time Service



87. Madam



92. Catalina Camp Field

<フォルダーno.3> California – Santa Fe'Lines (1923 Aug – Oct)



1. Santa Fe'Springs



9. Moneta SS



11. Hollywood Church



2. Hollywood Church



14. Santa Fe'Springs



17. Garden Grove



16. Santa Fe'Springs



28. Lowell Obs. Monument



37. Santa Fe'Line



29. Lowell Obs.



38. Santa Fe Station



44. Niagara Rapid



47. Niagara Station



52. Niagara Horse Shoe Falls



64. Ann Arbor の町



70. Auburn Campus



76. Auburn 記念写真



74. Auburn Monument



84. Albany Obs.



85. Albany Obs.



91. Mt. Holyoke Obs.



98. Smith College Obs.



99. Smith College Obs.



100. Smith Collage Obs.



100. Smith Collage Obs.

<ネガフォルダーno.4> Amherst – Columbia Univ. (1923 Nov – Dec)



5. Amherst Coll. Obs. Hill



18. Harvard Coll. Obs. 60 inch



9. Amherst Agri. Coll.



10. Cambridge,
Harlow Shapley



12. Christmas Morning



19. H.C.O. A Bldg. 一清の研究室のある建物



270. Old bond House



29. Monument と一清



39. Monument と英子



40. Monument と英子



41. Radio と一清



51. 並木道



58. Monument と英子



59. 教会と英子



67. Radio を聴く一清



73. パレード



42. 街並み



63. 自作 Radio



65. Guest at Harvard



66. ご婦人方



68. Wedding Party



69. H.C.O. C Bld 24inch



72. 港



75. 建物前



78. M Koma Swimming



79. Woodshole



81. Harvard Tea Party (台長宅)



82. Harvard Tea Party



84. Harvard Tea Party



85. Harvard Tea Party



92. Columbia Univ. Alma Mater

<フォルダーno.5> Vassar – N.Y. Sailing (1923), Pasadena Meeting (1923)



34. Mrs Stetson



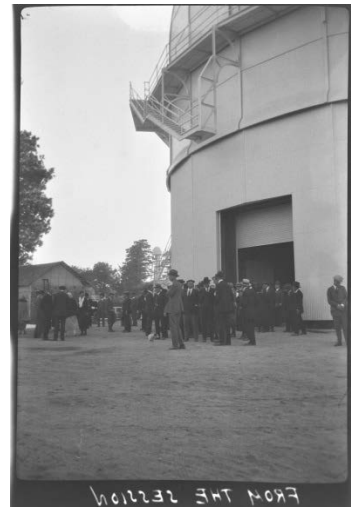
41. Washington Obs.



38. 街中



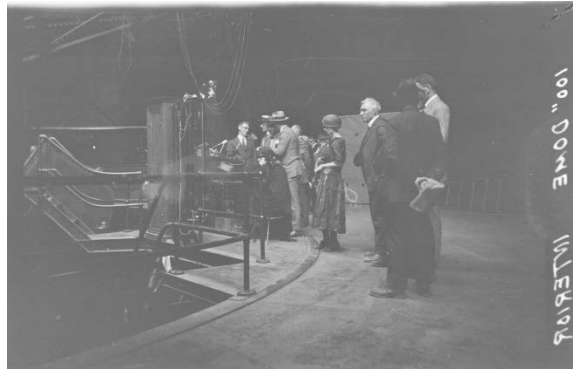
56. プリマス号船上にて



84. From the Session



45. Washington Obs.



87. 100inch



91. 100inch Meeting



92. Pasadena Meeting



86. 100inch

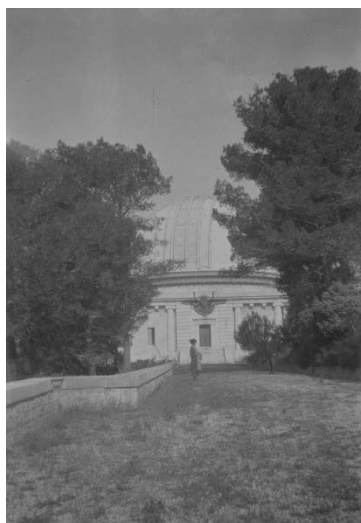
<フォルダーno.6> Orleans-Potsdam (1924)



16. Toledo 集合写真



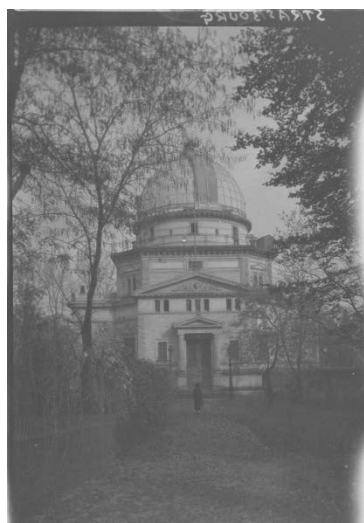
45. Milano 英子



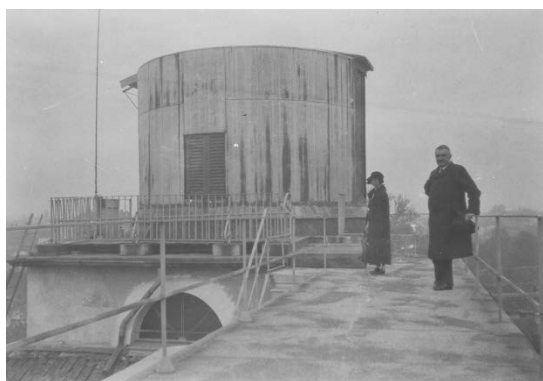
43. Nice Dome



44. Nice Dome



61. Strasbourg Obs.



47. Milano Prf Gobba



59. Frankfurt AM. Basel



65. Ave Obs. Paris



66. Le VeLier 像と英子

<フォルダーno.7> Arestri -Japan (1925)



8. Eddington



30. Pisa Tower



47. Roman Costello



31. Galileo House



32. Galileo House



55. Napoli



57. Napoli



59. Napoli



60. Pompei



61. Pompei



62. Pompei



64. Kashima Maru にて

<フォルダーno.8> 公私 — 教室関係



1.子午線



2.子午線



17.遠足



7.倉敷天文台



13.駅前風景



22.舟遊び



38.新城ほか



20.客人と



65.インドネシア中村要



65.インドネシア風景



56.ハイデと一緒に



59.遠足



68.インドネシアにて



69.インドネシア中村要



70.遠足



75.遠足



90.人物



94.街中 新城？

<フォルダーno.9> HOME 京都 天文 (1927-1929)



5.京大天文台クック搬入



6.クック搬入



7.クック搬入



1.京大天文台



2.京大天文台



8.クックと中村



10.クックと中村



11.京大天文台にて進と修



20.花山天文台建設現場



21.花山天文台建設現場



21.伏見工兵隊石碑



15.花山天文台建設現場



17.花山天文台建設現場



18.花山天文台建設現場



21.花山天文台建設現場



21.花山天文台建設現場



27.花山天文台建設現場



28.花山天文台建設現場



30.大ドーム完成



29.花山天文台建設現場



34.小ドーム完成



38.三角点



35.本館完成



42.小ドームと子午儀室



43.本館テラスにて



45.子午儀室



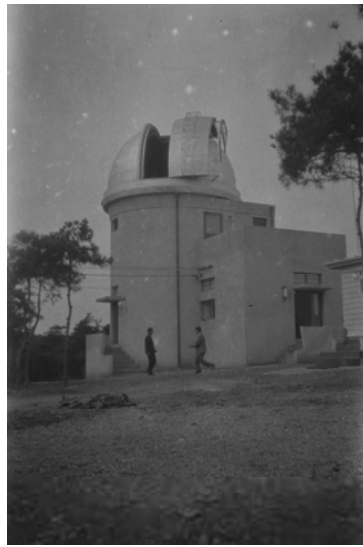
46.敷地風景（大ドームより）



48.太陽館シーロスタット



47.宿舎



49.小ドーム



51.カルバー46cm



50.テラスにてお茶



52.太陽館



53.10 インチ反射と柴田



70.大ドーム



54.10 インチ反射と柴田



56.山科村と鉄道



58.カルバー基台



74.山科村のながめ



76.小ドーム周辺

<フォルダーno.10> Sumatra – Branbanan (1929)



1.船上救命胴衣集合写真



4.ヤシの木と英子



5.ヤシの木と英子



9.中村要の影



10.測量



14.ビンタン丘に仁王立ちの中村要



20.そろっておやつ



15.写真撮影



17.ハイデ屈折



24.自動車の積み込み



21.観測装置全景



22.ハイデ屈折



23.ブラッシャー反射



38.オブジェと英子



40.インドネシア風景



42.インドネシア風景



43.インドネシア風景



44.望遠鏡を見上げる英子
(レンバン天文台)



55.火口



51. レンパン天文台と英子



54. 木蔭



58. 休憩



59. 火口



74. 休憩



77. ボロブドール



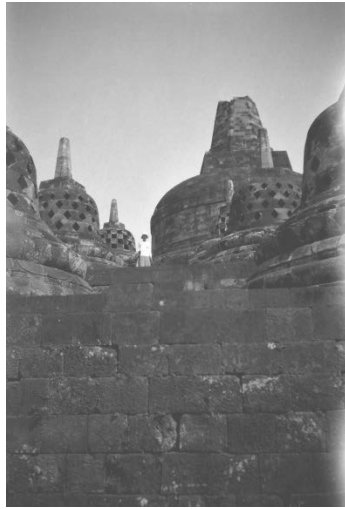
79. ボロブドール



84. ボロブドール



57. 火口



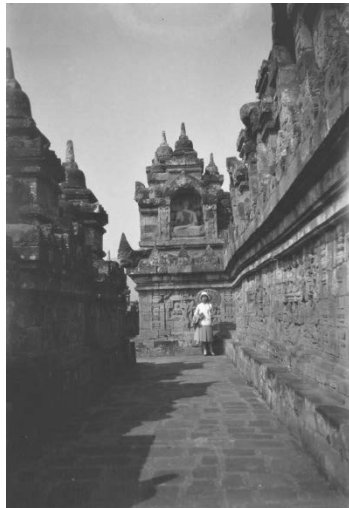
81. ボロブドール



83. ボロブドール



85. ボロブドール



86. ボロブドール



98. 田園風景



88. ボロブドール



89. ボロブドール



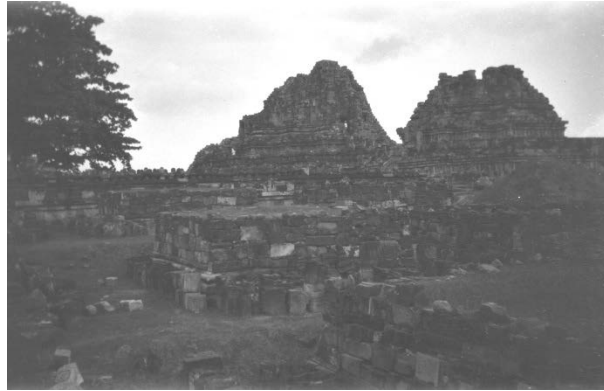
94.ボロブドール



97.田園風景



99.ボロブドール



100.ボロブドール

<フォルダーno.11> Java – Bromo – Singapore (1929)



2.輿に乗る英子



4.山の稜線



8.山の稜線



10.山の稜線



13.火口噴煙



23.売り子



31.像と英子



38.天井絵



41.街路



42.二つの塔

<フォルダーno.13> 私事



1.進、修、時子



25.双眼鏡をのぞく一清



27.テント



2.船遊び



7.桐生での家族写真



10.遠足



22.山小屋



26. 雪溪



36. 溪谷



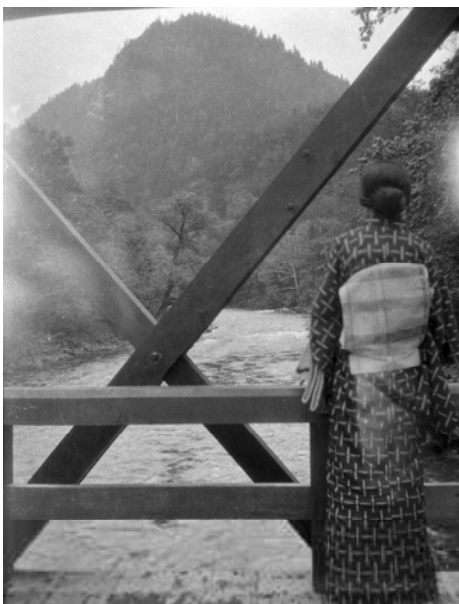
29. 高山植物



33. 溪谷



37. 瀧と英子




45. 溪流と英子

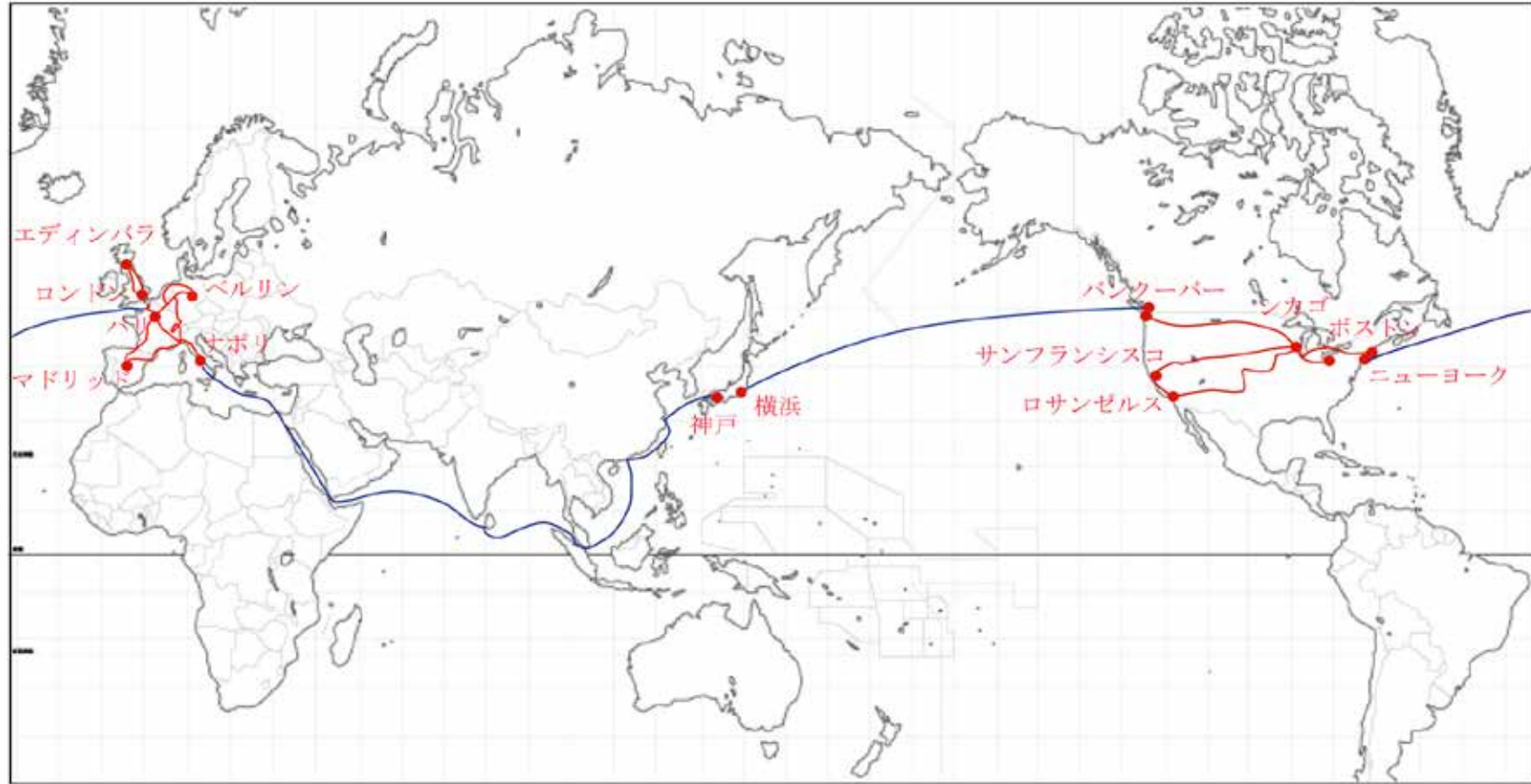


90. 三井寺に詣でる英子

欧米留学における山本夫妻の滞在地(1922-1925)

日付	移動	滞在地	出来事
大正11年(1922)			
6月			欧米留学の辞令
7月			浅間山重力偏差観測
8月			軽井沢にて渡米準備、吉田方
9月14日-9月30日	横浜から出航、バンクーバーへ		英子同伴、富山丸
9月30日	バンクーバー着		
10月1日	シアトル着		
10月3日	ヴィクトリア着		ドミニオン天文台
10月5日	シアトル着		ワシントン州立大学
10月9日-10月12日	シアトル発、シカゴ着		列車
10月13日		ヤーキス天文台滞在	
10月17日			シカゴ大学訪問
12月25日-27日	シカゴ発、ボストン着		物理学天文学会合同学会
12月29日-30日	ボストン発、シカゴ着		
大正12年(1923)			
2月6日			バーナード死去
3月17日			雪のヤーキス天文台の写真
4月11日-16日	クリーブランド行		宗教教育大会
5月16日-18日	マジソン市自動車旅行		
6月27日	シカゴ発	皆既日食観測行	英子同伴
6月29日	デンバー着		コロラド大学訪問
7月2日	サンフランシスコ着		世界教育大会
7月7日			リック天文台訪問
7月10日			クロスリー36吋(カルバー)を見る
7月17日-18日	サンノゼ発、ロサンゼルス着		
7月26日-28日			ウィルソン山天文台滞在
8月6日			日本人6名をウィルソン山に案内
9月5日	パサデナ着		
9月8日			カタリナで日食観測準備
9月10日			皆既日食
9月11日	パサデナ着		
9月17日、18日			米国天文学会、太平洋天文学会
9月19日			100インチ望遠鏡室で学会
10月16日			吉田卯三郎とウィルソン山へ
10月25日	サンタフェ発		
10月26日	フラグスタフ着		ローヴェル天文台訪問(スライファー)
10月29日	シカゴ着		ヤーキス天文台
11月1日	シカゴ発		
11月2日	ナイアガラ着		
11月3日	オーバーン着		
11月8日	ホリヨーク着		
11月12日	ボストン着	ボストン滞在	ハーバード大学天文台
12月26日-27日	ニューヨーク行		客船プリマス号、天文学会
大正13年(1924)			
1月1日	ボストン着		汽車
2月3日			水野恭介、室住、野村氏とモース訪問
3月			ラジオ製作にかかると
3月26日			シャブレイ宅で茶会
3月27日			サートンを訪問
5月31日			AAVSO出席
6月11日			シャブレイ宅で茶会
8月3日-6日	ニューハンプシャー行		ダートマス大学、天文学会
8月30日	ボストン発		
9月8日-9月17日	ニューヨーク発、ルアーブル着		フランス船デ・グラス号
9月18日	パリ着	欧州旅行	
9月23日-25日	パリ発、マドリッド着		国際地球同盟測地部会
10月8日	バルセロナ着		
10月16日	マルセイユ着		
10月19日	ニース着		ニース天文台訪問
10月21日	ゼノヴァ着		
10月22日	ミラノ着		
10月24日	チューリッヒ着		
10月27日	ジュネーブ着		
10月30日	バーゼル着		
10月31日	ストラスブール着		
11月2日	ハイデルベルグ着		
11月3日	フランクフルト着		
11月6日	ブリュッセル着		
11月9日	パリ着		
11月16日	パリ発、ロンドン着		英国旅行、単身
11月17日			グリニッチ天文台訪問
11月18日			ケンブリッジ天文台訪問
11月20日	エディンバラ着		
11月21日			カフステ氏訪問、カルバー31インチ
11月22日	グラスゴー着、ロンドン帰着		
11月24日			オックスフォード訪問
11月25日	ロンドン着		
11月26日-27日	ロンドン発、パリ着		
12月4日	パリ発、ブリュッセル着		
12月5日	ユトレヒト着		
12月7日	ハーグ着		
12月8日	ライデン着、アムステルダム着		

12月9日	グローニンゲン着			
12月10日	ハンブルグ着			
12月12日	ベルリン着			
12月13日				バンベルグ社、ベルリン大学天文台訪問
12月16日	パリ着			
大正14年(1925)				
1月16日-17日	パリ発、マルセイユ着			
1月18日	ゼノバ着			ピサの斜塔訪問、 ガリレオの住居訪問
1月19日	フィレンツェ			
1月20日	ローマ着			
1月22日				バチカン天文台訪問
1月23日	ローマ発			
1月24日	ナポリ着			
1月27日	ナポリ発			鹿島丸
1月30日	スエズ運河通過			
2月11日	コロンボ着			
2月17日	シンガポール着			
2月23日	香港着			
2月27日	上海着			
3月3日	神戸着			



山本夫妻の足跡（1922－1925）